令和３年度　生田高等学校 年間指導計画

教科・科目	情報・社会と情報	学年	2	教科書	実教出版 「最新　社会と情報　改訂版」
		単位数	2	副教材	第一学習社 ケーススタディ　情報モラル　Ver.15

学習目標	情報及び情報技術を活用するための知識と技能の習得を通し、情報に関する科学的な見方・考え方やコミュニケーション能力を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。
学習方法	・教科書や副教材をICTを用い、身近な事例などを通して情報化社会を学び、その問題点を理解させる。 ・実習に意欲的に取り組み、ワークシートや実習報告を提出させる。 ・実習では単にソフトウェアの使い方を学習するのでなく、主体的に活用する能力を発揮させる。

学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	関心・意欲・態度	コンピュータや情報通信ネットワークに関心を持ち、意欲的に学習活動に取り組む態度をもとうとする。
b	思考・判断・表現	情報を収集・処理・発信する方法を工夫したり、結果を踏まえて改善したりするとともに、情報モラルを踏まえた適切な判断をする。
c	技能	コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して、目的に応じて情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な技能を習得する。
d	知識・理解	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を身につけるとともに、情報社会における情報技術の役割や影響を理解する。

学期	内容のまとまり		時数	単元（題材）		学習内容	評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	オリエンテーション		2			学習内容の紹介 PC教室の使い方	○			○	情報を学ぶ姿勢が持てる。 PC室の使い方を理解した。	学習状況
	情報社会とわたしたち	表現と伝達	2	情報社会	表現の工夫	社会の中にあるコンピュータの働きについて知り、どのように活用されるか調べ考察する。 情報社会と情報化の光と影を学ぶ。	○	○	○	○	コンピュータの活用について考察できる。 意欲的に取り組んだ。 コンピュータの基本的な活用技能が習得できた。 情報化社会の概要を理解できた。	学習状況 提出物 期末試験
			3	情報社会の個人		個人情報とその保護や責任とモラルを学ぶ。			○	○	モラルを踏まえた判断ができる。 目的に応じたコンピュータやネットワークなどの活用技能が習得できた。	
	法規とセキュリティ		3	情報の管理・保護に関する法律		知的財産権の種類や内容、各種法規と概要について学ぶ。		○		○	知的財産権の種類や内容、各種法規と概要について理解できた。	
			14 …… 24			ワープロソフトを用いて文書による表現を学ぶ。	○	○	◎	○	ワープロソフトの利用方法を習得できた。 図や表を用いるなど、表現に工夫が見られる。 意欲的に取り組んだ。	
2学期	情報機器とディジタル表現	表現と伝達	14	表計算ソフトの利用		情報の整理・分析を行い、解決案を作成する。 表計算ソフトを活用し、情報統合処理能力を高める。	○	◎	◎	○	情報の整理・分析の方法について理解できる。 関数の使い方等表計算ソフトの利用方法を習得できた。 適切なグラフを利用できる。 意欲的に取り組んだ。	学習状況 提出物 期末試験
			14	ディジタルと情報機器		アナログとディジタルの特徴や利点を考え、情報を利用することを学ぶ。	◎	○	○	◎	2進数、16進数などを使った計算などができた。 再現性・圧縮・統合化等のディジタル化について理解できた。 音声、画像のディジタル化、動画の仕組みを理解できた。 音声、画像のディジタル化、動画の活用できた。 意欲的に取り組んだ。 アルゴリズムを理解し、正しくプログラミングができた。	
				ディジタル表現		2進数や情報の再現性・圧縮・統合化等のディジタル化について理解する。	◎	○	○	◎		
			…… 28	プログラミング入門		フローチャートやアルゴリズムを学び、身近な現象に関してプログラミングを行う。	○	◎	◎	○		
3学期	表現と伝達		18	プレゼンテーション		プレゼンテーションソフトを活用して作品を作り相互評価する。	○	◎	◎	○	プレゼンテーションソフトの基本的な使い方が理解できた。 プレゼンテーションソフトの基本的な使い方が習得できた。 プレゼンテーションソフトの効果的な利用と発表の工夫ができた。 意欲的に取り組んだ。	学習状況 提出物 発表
合計時数(50分授業)			70									